

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 29 日 (2021.7.29)

【公開番号】特開 2021-45659 (P2021-45659A)

【公開日】令和 3 年 3 月 25 日 (2021.3.25)

【年通号数】公開・登録公報 2021-015

【出願番号】特願 2020-215432 (P2020-215432)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 21 日 (2021.6.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な遊技盤を有する遊技機において、

前記遊技盤に設けられる始動口への入球に基づいて判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定の結果に基づいて図柄変動を行う図柄変動手段と、

前記図柄変動にて所定の態様が現れると、遊技者に特典を付与しうする特典付与手段と、

演出に関わる制御を行う演出制御手段と、

前記演出制御手段による制御によって動作可能な可動体と

を備え、

前記演出制御手段は、

前記可動体を動作させる可動体動作時期が予め設定されている特定状態を、前記始動口

への入球とは別の特定条件が成立したことに基づいて発生可能な特定状態発生手段

を有しており、

前記特定状態が発生したときに前記図柄変動が実行途中の状況にある場合、該実行途中の状況にある図柄変動が停止されるまでの所定期間においては、前記図柄変動の変動パターンに応じた演出表示と、前記図柄変動の変動パターンに応じた前記可動体による演出動作と、特定の復元時期が到来したことに基づいて正常位置にない可動体に復元動作を行わせる処理と、のいずれもが実行されないようにされており、

前記所定期間が終了した場合であっても、前記特定状態内における可動体動作時期に基づく前記可動体による動作が未だ完了されていないときには、前記図柄変動の変動パターンに応じた演出表示は実行可能とされるが、前記図柄変動の変動パターンに応じた前記可動体による演出動作と、前記特定の復元時期が到来したことに基づいて正常位置にない可動体に復元動作を行わせる処理と、はいずれも実行されない

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 8 】

本発明は、

遊技球が流下可能な遊技盤を有する遊技機において、

前記遊技盤に設けられる始動口への入球に基づいて判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定の結果に基づいて図柄変動を行う図柄変動手段と、

前記図柄変動にて所定の態様が現れると、遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

演出に関わる制御を行う演出制御手段と、

前記演出制御手段による制御によって動作可能な可動体と

を備え、

前記演出制御手段は、

前記可動体を動作させる可動体動作時期が予め設定されている特定状態を、前記始動口への入球とは別の特定条件が成立したことに基づいて発生可能な特定状態発生手段を有しており、

前記特定状態が発生したときに前記図柄変動が実行途中の状況にある場合、該実行途中の状況にある図柄変動が停止されるまでの所定期間においては、前記図柄変動の変動パターンに応じた演出表示と、前記図柄変動の変動パターンに応じた前記可動体による演出動作と、特定の復元時期が到来したことに基づいて正常位置にない可動体に復元動作を行わせる処理と、のいずれもが実行されないようにされており、

前記所定期間が終了した場合であっても、前記特定状態内における可動体動作時期に基づく前記可動体による動作が未だ完了されていないときには、前記図柄変動の変動パターンに応じた演出表示は実行可能とされるが、前記図柄変動の変動パターンに応じた前記可動体による演出動作と、前記特定の復元時期が到来したことに基づいて正常位置にない可動体に復元動作を行わせる処理と、はいずれも実行されない

ことを特徴とする。

## 【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 9

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】